

平成29年度学校評価実施計画

学校名 日田高等学校定時制

前年度評価結果の概要	◎授業改善としてICT機器の活用を重点項目に掲げ、機器の整備といったハード面から、活用する側のスキルアップのための研修といったソフト面まで充実を図った。 ◎各種行事の精選を行うとともに、多様な定時制ならではの拘りのある講演会等を企画し、行事出席率が7割を超えることができた。行事を通じて生徒の心理的成長を促した。 ◎相談支援体制の構築について、地域の外部機関と連携を図り、合同ケース会議まで持つことができたのは来年度に繋がる成果であった。 ◎学校からの情報発信として、学校HP・学校だよりを昨年以上に充実させるとともに緊急時対応として39メールの導入も行った。
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
「剛健 積極 明朗」の校訓のもと、誇り高く、心豊かで、たくましい人間を育成する	社会的・職業的自立の基盤となる体力・知識・豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的自立をめざした教養教育・キャリア教育の充実</li> <li>特別活動や行事の活性化による想像力、協働力、忍耐力の育成</li> <li>自己存在感の確立と心身の健康づくり</li> </ul>

PL: プロジェクトリーダー、SL: サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
社会的自立をめざした教養教育・キャリア教育の充実	1) キャリア教育における満足度75% ①ICTを活用した学ぶことへの興味・関心を高める授業への改善 ②学ぶ意欲の喚起と、職業観・勤労観の醸成	○生徒の授業意識向上を目指し、授業改善に向け、各研究会等への参加やICT機器活用・ユニバーサルデザイン等の研修を行い、スキルアップを図る。さらに互見授業や研究授業を実施し、授業の成果や課題について教員全体で議論を重ねていく。	・「授業改善スクールプラン・マイプラン」の見直し、進捗状況の定期的な検証・成果と課題の確認を学期毎に職員間で実施する。・授業アンケート実施。(学期毎) ・各種研修の実施(ICT活用研修・ユニバーサルデザイン研修等)(随時)各研修会への参加(1人3回以上) ・ICT機器の活用推進 ・教科横断型授業の取り組み ・相互授業(1・2学期)、研究授業(随時)の実施 ・学校生活アンケート・キャリア教育アンケートの実施(学期毎)	PL 教務主任 SL 進路主任
		○教科、特別活動をはじめあらゆる教育活動を通じて、人間関係形成力、自己理解、課題対応能力、健全な職業観・労働観を育成する。	・各学期に1回以上の進路講演会の実施 ・キャリア教育の観点から、職業を意識した講演に拘らず、社会貢献への意識を高める講演や生徒参加型の内容などにより、定職率向上に繋げる ・進路達成に必要な基礎学力の定着と履歴書書きなどを国語科と連携し、HRAなどでの実施 ・ハローワークとの密な連携 ・進路希望に応じた取り組み計画の策定	PL 進路主任 SL 各HR担任
		○各種講演会の目的・意義から生徒へのメッセージを明確にし、ふり返りを行うことにより、生徒が学んで欲しい資質の定着を図る。	・振り返りの時間を確保するため、講習会計画の際にふり返りも含んだ形で時間設定をする。 ・アンケート記入時に、生徒と内容についての意見交換を行う。	PL 各HR担任 SL 進路主任
特別活動や行事の活性化による想像力、協働力、忍耐力の育成	2) 特別活動・学校行事への参加率及び満足度70%以上 ①行事への主体的な参加による一体感・達成感の享受 ②自分と他者の可能性を大切に、励まし努力しあえる生徒の育成	○あいさつを通してコミュニケーション能力を向上させ、自分と他者を大切にして、励まし努力しあえる生徒を育成する。	・いのちの講演会(年1回)、人権標語(全年)、人権教員研修(年1回)の実施。 ・あいさつ月間(4月・9月・1月)を設け、挨拶プラス1(挨拶をしたときに何か1つ生徒に声をかける。)の実施。 ・「自分からあいさつする」生徒を増やす。アンケート調査により割合を確認する。 ・教師の即座の肯定的な評価や感想、心が温かくなる反応(良いコミュニケーションの見本として)	PL 人権教育主任 SL 生徒指導主任
		○行事などを通して集団生活でのマナーやルールを守る態度や規範意識を醸成し、自分と他者の可能性を大切に、安心・安全な学習環境づくりを図る。	・いじめ・学校生活アンケート(年2回)薬物乱用防止教室(年1回)、交通安全教室(年1回)、バイク・自動車免許取得者集会(年2回)、避難訓練(年2回)の実施。 ・校舎内見回り指導の改善と実施。	PL 生徒指導主任 SL 総務主任
		○各種行事において生徒が主体的に参加するように生徒会各種委員会の活動を活性化させ、学校への所属観や連帯感を高める。(企画・協力・挑戦・達成感・充実感・所属感・連帯感の涵養)	・新入生歓迎会(4月)、各種委員会、校内生活体験発表大会、県生活体験発表大会、体育祭、クラスマッチ(学期に1回)、予餞会、清掃活動(年3回)、バス遠足(年1回)、芸術鑑賞(年1回)、教育振興会レクリエーション(1回)	PL 特活主任 SL HR主任
自己存在感の確立と心身の健康づくり	3) 学校生活における満足度75% ①自尊意識の向上と自立心・自律心の養成 ②望ましい食生活への改善と食育指導の充実	○和気藹々とした雰囲気の中で適度に、心地良く汗をかく小さな体験を積み重ねること、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を涵養する。	・定通県体、全国定通体育大会、フィットネスウィーク(定通県体前)、新体カテテスト(年2回)、フィットネスジムインストラクター講座(年1回)、ボウリング大会(年1回)、補強運動(体育毎時間) ・新体カテテストにおける記録の向上60%以上	PL 特活主任 SL 総務主任
		○コミュニケーション能力を高め、人と関わる技能を身につけさせる。	・グループエンカウンターを全年実施(年1回以上) ・人間関係づくりに関するグループアプローチの職員研修を実施(年1回)	PL 教育相談主任 SL 保健主任
		○安全・安心な食生活と、体と心の健康は密接に結びついていることを理解させる。 ○人としていかに在るべきか、いかに生きるべきかについて、主体的に考え、選ぶことができるようにする。 ○適切な支援を受けることができるようにする。	・健康教育講演会(年2回/不登校や反社会的行動の背景にある生活や特性の問題//依存症の問題/食の問題) ・臨床心理士や社会福祉士を講師にした職員研修会の実施(年1回) ・医療、行政、福祉の関係機関との連携強化と生徒支援の輪の拡大(定例会、臨時ケース会議) ・食育実習(家庭科の授業)の実施 ・救急救命講習会(年1回)	PL 保健主任 SL 教育相談主任